

● 鉄鋼事業部門 ○ アルミ・銅事業部門 ● 機械事業部門 ● 本社

機械事業部門

「船用バイナリー発電システム」の開発に着手
エネルギーの有効活用とCO₂排出量の削減のため、
船舶エンジンの排熱を利用したバイナリー発電シ
ステムを開発

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所 新溶銑処理設備の稼働を開始

当社は、競争力強化の施策の一つとして、鋼材事業のオンリーワン製品の更なる拡販に向けた生産体制の整備を進めていますが、特殊鋼線材・糸鋼、自動車用ハイテン、エネルギー向け厚板といったオンリーワン製品を造るためには、溶銑中の硫黄やリンといった不純物を取り除く処理が必要です。この度、新たな溶銑処理設備を稼働させることにより、溶銑の処理に必要な副原料の使用量削減や鉄歩留の改善を実現するほか、既存設備とあわせると生産している溶銑の全量を処理できるようになり、オンリーワン製品の生産量を増やすことが可能となります。今後も、製鉄所の競争力を強化し、市場での存在感と収益力の向上を図ってまいります。



新溶銑処理設備

本社

神戸製鉄所での石炭火力発電所の増
設に向けて準備を開始
関西電力株式会社の2014年実施予定の火
力電源入札募集に応札することを決定

鉄鋼事業部門

メキシコに自動車部品向け線材二次加
工拠点を設立
自動車用ファスナーや冷間鍛造部品等の素材
となる冷間圧造用鋼線の現地生産・供給体制
構築

鉄鋼事業部門

船舶ディーゼルエンジン用クランク軸の
新たな製造法が、日本海事協会の設計疲
労強度向上認証を世界で初めて取得
強度向上によるクランク軸の軽量化により燃
費軽減を実現

2014

(平成26年)

4月

5月

6月

7月

8月

9月

機械事業部門

ブラジルにおける新会社の営業を開始

近年、ブラジルでは、海洋資源開発や、石油精製・石油化学プラントの建設がめざましく、プラント内で使用される非汎用圧縮機の需要が増加しています。当社の圧縮機もブラジルをはじめとした南米に多数の納入実績があり、アフターサービスの面からも現地対応の必要性が高まっていました。そのため、非汎用圧縮機を中心に営業活動およびアフターサービスを担う新会社をブラジルに設立し、営業を開始しました。新会社は、当社グループ初のブラジルでの拠点となります。非汎用圧縮機事業においては、すでに、中国・東南アジア・中東・北米・欧州に拠点を有しており、新会社で南米をカバーすることで、世界の主要なマーケットをカバーすることが可能となりました。今後も、各拠点の拡充に取り組み、圧縮機事業のグローバルな競争力の強化に取り組みとともに、この度設立した新会社を、南米における非汎用圧縮機以外の機械事業部門の製品の販売やサービスの拠点として活用していくことも検討してまいります。

アルミ・銅事業部門

米国アルミ鍛造拠点における生産能力増強工事が完了

米国では、自動車の生産台数の増加に加え、燃費規制の強化に対応する自動車の軽量化ニーズが加速していることから、アルミサスペンションの需要は急速に拡大しています。今後の更なるニーズの拡大に備えるため、自動車サスペンション用アルミ鍛造部品の米国拠点の生産能力を増強し、量産稼働を開始しました。この度の能力増強によって、アルミ鍛造部品の生産能力は、米国拠点では1.5倍の月産42万本に、グループ全体では日本と中国の拠点を合わせて月産100万本になりました。また、中国の拠点でも更なる能力増強を決定しており、日本も含めた3拠点で、世界の自動車サスペンション用アルミ鍛造部品市場で確固たる地位を築いてまいります。



増設されたプレス機

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.co.jp>